

# 伊庭景だより

## Vol.1 伊庭の景色を考える会 準備会を開催しました

発行：京都大学大学院景観設計学研究室 高橋・玉井・松本

### 「伊庭の景色を考える会」とは？

伊庭はその美しい景観の中に湖東地方の水郷の面影を残すとても貴重な地域です。昭和50年代から地元の方々によって景観保全が進められ、平成22年には景観調査が行われました（当研究室の学生による）。私たち京都大学の有志は、伊庭の貴重な水郷景観を後世に引き継いでほしいと考えています。そして、地域の方々とともに今一度伊庭の景色を考えるために「伊庭の景色を考える会」を設けたいと考えました。学生が主体の自主的団体ですが、まずは最初の活動として「伊庭八景」の選定を企画しました。8月2日には、伊庭庄の歴史を語る会をはじめ、住民の方々にご協力いただき、その準備会を開催し、『伊庭八景』にふさわしい伊庭の風景や思い出を教えてくださいました。この『伊庭景だより』は私たちの活動をより多くの方々に知っていただくためにつくりました。初刊である今回はその準備会の様子をご報告します。

### ◆ 8月2日、こんなことをやりました

14:00 自己紹介とごあいさつ



私たち学生側から自己紹介とごあいさつをさせていただきました。『伊庭八景』を選ぶことで伊庭の風景を守り、大事にしていきたい、ということをお話ししました。

14:15 グループワーク



3グループに分かれて地図を囲み、意見を出し合いました。テーマは「いま好きな風景」「昔好きだった風景」「これから良くしていきたい風景」。川に飛び込んだ思い出や今でも好きな金刀比羅神社など、みなさん話が弾みます。

15:30 グループごとに発表



グループワークで話し合った内容をそれぞれ発表してもらいました。発表はイヤと言いつつも、話し出したらこの通り。「船着場なら簡単に直せそう」「ハスの咲く水路に水を戻せたら」と楽しそうに話っていました。

時間：14:00～17:00

場所：伊庭会館

参加人数：12名

ご参加くださった伊庭庄の歴史を語る会・自治会長・前自治会長・東近江市のみなさま、ありがとうございました！



▲ 話は尽きず、少し延長も...

▲ 地図を見せながら発表

### ◆ 『伊庭八景』の候補 MAP が完成！

- 昔好きだった風景
- いま好きな風景
- これから良くしていきたい風景

#### 『昔好きだった風景』

- 1 橋がなかった風景
- 2 高かった正厳寺橋
- 3 平和橋があった風景
- 4 畑の中にたくさんあった伊庭もも
- 5 水深が深く飛び込んでいた水路
- 6 うろりがたくさんいた風景
- 7 内湖沿いの押し網の風景、魚つかみをよくしていた場所
- 8 うなぎを筒にしじみやミズを入れて取っていた風景
- 9 桜がたくさんあった、桜並木
- 10 じゃ車で田んぼに水をあげていた風景
- 11 船庄さんの舟着場
- 12 水屋
- 13 舟吉さん(舟屋さん)
- 14 大きな楠
- 15 多武大明神、石の上で魚釣りをした場所
- 16 名門の醤油屋さん
- 17 学校、二階から見えた琵琶湖の風景
- 18 大きな松の木
- 19 金刀比羅神社、ここから泳いでいた
- 20 一家に一本あった伊庭桃の木
- 21 伊庭の港
- 22 五軒町(屋敷、石垣)
- 23 名子のダーダー(つり)
- 24 妙楽寺
- 25 灯籠(卯の時祭の出发点)
- 26 みんな泳いでいたまがり
- 27 土豊橋
- 28 春日
- 29 山田屋の地藏(映画に出てきた)
- 30 あまり変わっていない水路
- 31 妙金剛寺
- 32 智恵文殊堂
- 33 映画に出てきた橋



#### 『いま好きな風景』

- あ 山と田んぼの風景
- い 冬の雪山
- う 正厳寺橋の田舟
- え 密集した寺の風景
- お 妙楽寺裏のハスの花
- か 内湖の風景
- き 舟板堀
- く 謹節館
- け 昔の石垣が残っている水路
- こ 仁王堂
- さ 安土の景色
- し 子供が水路で遊んでいる風景
- す 勧請縄
- せ 昔のままの石垣

#### 『これから良くしていきたい風景』

- そ 水路内のきれいな水と水草
- た お地藏さま
- ち 昔のままの水路
- つ 金刀比羅神社
- て 大濱神社

#### 『これから良くしていきたい風景』

- ア 田んぼにたくさんあった井戸
- イ 入りカフト
- ウ 昔良かった石垣
- エ 橋がなかった伊庭川
- オ 坂下し祭の神輿を乗せた場所
- カ 一件に一個は50m程掘った井戸があった
- キ 田んぼの中に塚があった
- ク 白屋の内カフト
- ケ 船着場の整備と田舟の係留
- コ 昔あった魚の販売所
- サ 水量の確保と水路の復活
- シ きれいな水と水草
- ス 米屋さん(米の配給所)
- セ まちなかのメインの街道の整備→かつての商店(かさ屋や和菓子屋)を配置する
- ソ 水路の復活
- タ 船着場(今は畑)
- チ コンクリート
- ツ 石垣が崩れそう
- テ 橋が無造作に架かっている鉄のカフト
- ト ダルマ屋さんの内カフト

### ◆ これからの予定

第1回の伊庭の景色を考える会は11月10日です。

ぜひご参加下さい！東近江市と共同開催で詳細は調整中ですが、今回行った伊庭八景候補をもとに、より広くより多くの方々との意見交換を行いたいと考えています。候補をまとめ、回覧板や全戸配布などで住民のみなさまによる『伊庭八景』の投票も予定しています。一緒に未来の伊庭の姿を考えましょう！



Vol.2では、8月30日に開催したイベント「田舟の遊上/ボートで冒険」の様子をお伝えします。

# 伊庭景だより

## Vol.2

伊庭八景が決定しました！



発行：京都大学大学院景観設計学研究室  
高橋・玉井・松本

### ◆第3回 伊庭の景色を考える会を開催

日にち：2012年12月12日(水)  
時間：14:00～17:00  
場所：伊庭町 自治会事務所

#### ⑥ 伊庭八景の事前投票結果発表



11月24日から12月7日まで伊庭町自治会館に投票箱を設置し、事前に伊庭八景の投票をお願いしていました。まずその開票結果から発表です。最も得票数が多かった「大濱神社と仁王堂」「妙楽寺と水路」「ヨシ原と内湖」は『伊庭八景』に決定しました。また、学生チームの修景案を発表しました。

#### ⑥ グループワーク1 「これから、伊庭でどういいう水利用があり得るか」



伊庭町の大きな特徴である水路に着目し、これからの伊庭での水との付き合い方について参加者全員で考えました。大きなイメージから具体的な利用方法まで、多くの意見が出ました。最後に、各グループで話した内容を発表してもらいました。

#### ⑥ グループワーク2 『わたしの選ぶ未来の一景』と修景の可能性



『未来の八景』候補地の未来の可能性について議論しました。水路一帯を広場のようになみな集まる場所にしよう、ヨシ原と内湖のあたりを昔の活動の再現イベントができるような空間にしよう、など伊庭の歴史と景観資源を生かしたアイデアが挙げられました。

#### ⑥ 決選投票

- 大濱神社と仁王堂
- 妙楽寺と水路
- ヨシ原と内湖
- 伊庭城址の石垣・三枝氏のカワト
- 妙金剛寺川とホタル
- 正厳寺と田舟
- 悠々と川を泳ぐ鯉や魚
- 岡八醤油の蔵

得票数上位3つは伊庭八景に決定

拡大

入れ替え

投票による伊庭八景の上位5個とグループワーク2の『未来の一景』とを決選投票し、『伊庭八景』を決めました。

伊庭城址と堀

(石垣やカワト等個々のものではなく城址一体として選定)

卯の時祭と乗降場

金刀比羅神社と港跡

↑投票による『伊庭八景』

↑決選投票で入れ替わったもの

伊庭八景の最終決定！

### 伊庭八景

今の八景

今のままで素晴らしいところ／残していきたいところ

未来の八景

少し手を加えれば素晴らしいところ／これから良くしていきたいところ



#### 大濱神社と仁王堂

今の八景

伊庭の景色を考える会で意見が多く出た場所であり、投票でも最も多く票が集まった。伊庭の歴史を伝える重要な風景であり、様々な祭礼が行われている。住民の思いが詰まった場所でもある。後世に伝えるため保全すべき風景であるという声が多く、子供に伊庭の歴史を知ってもらうために活用すべきだという意見が出た。



#### 伊庭城址と堀

未来の八景

投票による伊庭八景では「伊庭城址の石垣、三枝氏のカワト」が入っていたが、第三回伊庭の景色を考える会において護国館や堀などと一体的に捉えるべきだという意見が出たため、より広い範囲を対象とした「伊庭城跡と堀」が八景となった。市民からかつては伊庭の政治の中心だったこの場所を伊庭の歴史を発信していく場所にしたい、子供の遊び場の中心として修景していきたいという意見が出た。



未来の八景

今後良くしていきたい場所として最も意見が多く出た場所である。かつてのように水路に水を流し、ハスの花を咲かせたいという意見が多く出た。水とハスが妙楽寺を囲む風景は、珍しい寺の構えをさらに引き立てており、新たな原風景となり得る。系図詣りが行われる重要な場所である。



#### 正厳寺と田舟

今の八景

当時は一軒に一艘存在した田舟を伊庭で唯一見ることができる場所である。正厳寺の住職が自ら田舟を修復するなど住民の思いが現れている風景でもある。田舟を活用したイベントを継続して行いたいという声も出ており、かつては人々を運んでいた田舟が失われた風景を未来へと運ぶ。



#### ヨシ原と内湖

未来の八景

「仁王堂と大濱神社」「妙楽寺と水路」と並び最も投票数を獲得した。伊庭の生活を支えてきた欠かせない風景である。かつては押し網で魚を捕る人や田舟で漁に出る人の光景があった。現在でも湖面越しに山々を望む豊かな景観であるが、内湖の自然や生態系を活かした新たな活動により、人々の姿が再び風景に現れることを期待する。



#### 妙楽寺と水路

未来の八景



#### 妙金剛寺川とホタル

今の八景

昔からの幅と石垣が残る水路であり、水の清澄さ、豊かな生態系を感じることができる風景である。ホタルゾーンが設置されており、住民の努力を垣間見ることができる場でもある。昔からの風情が残る貴重な水路である。伊庭にはこのような風景が多く残っており、町全体として守っていききたい水路の風景の代表として選定した。



#### 卯の時祭と乗降場

未来の八景

投票により選ばれていた「川を悠々と泳ぐ鯉や魚」に代わり、新たに伊庭八景となった。カワトや橋を綺麗に整備し、かつての趣を感じられる風景に修景したいという意見が出た。神輿を舟に乗せる卯の時祭りの失われた風景が再生されることで、伊庭の歴史的・文化的価値を向上させることができる。



#### 金刀比羅神社と港跡

未来の八景

投票により選ばれていた「岡八醤油の蔵」に代わり、新たに伊庭八景となった。生活を支え、歴史的にも価値のある港と金刀比羅神社を一体的に整備し、伊庭の歴史を発信する拠点としたいという意見が出た。また、魚釣りできる場、伊吹山や湖西の山々といった伊庭の外を眺める視点場としても整備したいという声も出た。